

一部後払い可能 操作方法周知にも力

MCデータプラス

MCデータプラスは、建設業務クラウドサービス「建設サイト・シリーズ」の労務安全書類作成サービス「グリーンサイト」(GS)について、100プロジェクト以上利用する企業のプロジェクト利用料の一部を後払い可能にする。このほか顧客満足度調査の結果を踏まえ、操作方法周知のためのウェビナー開催などに力を入れる。17日にオンライン形式のユーザーミーティングで明らかにした。

同社が2021年に実施した顧客満足度調査では、全体の約6割が満足しているとしたものの、4割は「何とも言えない」「満足していない」とした。労務安全書類の作成しやすさなど主要な機能は評価されているものの、導入後の操作方法の習熟や初期登録の手間、サポートに改善の余地があった。また、支払い方法も、元請けの協力会社の利用で価格に見合った活用ができていないとの声もあった。

これを踏まえ、Bコース(元請け・100プロジェクト以上)を利用する際のプロジェクト利用料の一部を後払い可能にする。例えば、定期的に月当たり160プロジェクトを利用しており、繁忙期

には185プロジェクトまで必要になる元請けの場合、従来は185プロジェクトをカバーできるコースの契約となっていたものの、160プロジェクト分は年払いとし、185プロジェクトまでの変動分は実績に応じて支払えるようにする。

操作方法の改善では、協力会社向けサポートとして「使い方ウェビナー」を21年11月から月1回のペースで開始。1月のウェビナーでは2614人が参加するほど好評で、今後も月1回のペースで開催する予定だ。このほか、添付ファイルを手動でマスキングできる機能など各種法令・通達に合わせたアップデート、利用者の要望を踏まえた機能改善を進める。

作業間連絡調整サービス「ワークサイト」では、元請けの連携によるグリーンサイトのデータを利用したサービス拡充を進め、建機などのCO₂排出量をモニタリングする機能も近く提供を始める。

